



ジェー・シー・アイ 代表取締役社長

おおしだ かずよし 大信田 和義 氏

「人とモノをつなぐ」を掲げ、たゆまず進化

「人とモノをつなぐ」を合 関東にかけての東日本全域で

言葉に、宮城県富谷市を拠点 営業を展開する。

にして医療や福祉、介護、保 強みとするのが、取引先で

育に関するサービスを提供す 要望や悩みを聞き取り、ワン

る。紙おむつやマスクなどの ストップで迅速に伝える機動

消耗品を福祉施設や医療機関 力ときめ細やかさ。「顧客か

に届けるほか、福祉用具のレ 頼られる会社づくりを目指し

ンタル、オーダーメイド車い ています。サービスと知見を

すの販売など、手がける事業 常に進化させ、福祉や医療の

は多岐にわたり、北海道から 開発・製造にも着手。他にも

インフラを担っていきます」

同社が製作するオーダーメ

ード車いすは、宮城県内で大

人用が85%前後、子ども用が

ほぼ100%のシェアを誇

り、顧客満足度の高さをうか

がわせる。自動車メーカーと

連携し、顧客の求めに応じて

カスタマイズした福祉車両の

とサービス向上に磨きをかけ

ティッシュやハンドソープな

ど数多くの自社ブランド製品

を世に送り出している。

さらなる成長に向け、北海

道と関東での営業を強化して

いく戦略を描く。北海道では

2025年から札幌支店を新

築移転する計画をスタートさ

せ、物流拠点も設けて機動力

を高める



宮城県富谷市にあるジェー・シー・アイ本社

る方針だ。「日本全体で人口 育とサポートが不可欠です。

が先細りの中、企業として生 限られた労働時間で生産性を

き残っていくには積極的に市 高められるよう社内でセミナー

場を開拓していく姿勢が欠か ーを開き、福利厚生充実

せません。5年くらい先には にも取り組んでいます」

台湾にも支店を出し、グロー 秋田市出身で故郷に対する

バル企業として飛躍していく 構想を抱いています」と語

り、海外展開にも意欲を示す。 思い入れも強い。「秋田は優

そのために重視するのが、 秀な人材が育つ地。就職先の

顧客満足度と従業員満足度の 選択肢として目を向けてもら

双方をバランスよく高めるこ えるよう、ブランドイメージ

と。「顧客から高評価を得ら を高めていきたい」と話す。



株式会社 ジェー・シー・アイ
〒981-3341 宮城県富谷市成田1丁目5-3
TEL.022-745-1311
1976年4月14日設立
資本金:9990万円、従業員数:118人
卸売業(福祉用具・介護用品の販売・貸与)

